学校番号	T0110

平成 31 年度　体育科

教科	体育科	科目	スポーツⅠ	単位数	１単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・陸上競技の個々の種目を体験し、基礎技術・基本練習を身につけることにより、走・跳・投の特性を理解し興味関心を持って取り組んでみよう。
・生涯スポーツとして継続できるように、授業の後半での持久走においては、実施回数でマラソンの距離以上を目標に走力をつけることにより、有酸素運動の意義を理解し生涯を通じて健康な生活が送れるように、自分にあった生涯スポーツを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・陸上競技の個々の種目を通じて、体力の向上・基礎技術・基本練習を身につけることにより、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
・測定競技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、陸上競技の技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで陸上競技種目の楽しさや喜びを味わおうとする。活動の中で集団の一員として行動し、協調性・責任感をもって運動に取り組むことができる。	走・投・跳の知識を活用し、技能の向上につなげる。 学習で得た知識を活かして自ら応用して他の運動や生活に活用する。	各種目の技術・技能を身につけ、記録の向上に活かすことができる。 仲間と連携・協力して他の人の活動種目を観察することができる。	各種目の特性やねらいを把握し、記録の向上につなげる。 各種目のルールを理解し、記録の計測や審判法を学ぶ。 積極的に学ぶ姿勢を養い理解を深める。
評価方法	受講態度の観察 活動票 記録票 レポート	活動票 記録票 レポート	技能観察 活動票 記録票 レポート	活動票 記録票 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	陸上競技	【実施種目】 走；６０ｍ、６０ｍＨ、１５００ｍ 跳；走幅跳、走高跳、三段跳 投；砲丸投、やり投 持久走；３０～６０分間走 ①　オリエンテーション 　　＋走＋跳＋持久走 ②　③走＋跳＋持久走　　６０ｍ計測 ④　⑤走＋跳＋持久走　　走幅跳計測 ⑥　走＋投＋持久走　６０ｍＨ計測 ⑦　跳＋投＋持久走　　砲丸投計測	○	○	○	○	a: 走；６０ｍ、６０ｍＨ、跳；走幅跳、投；砲丸投、持久走；３０分間走の活動内容の中で楽しさや喜びを味わおうとし、協調性・責任感をもって運動に取り組むことができているか。 b: 走・投・跳の知識を活用し技能の向上、自ら応用して他の運動や生活に活用することができるか。 c: ４種目の技術・技能を身につけ、記録が向上しているか。仲間と連携・協力して他の人の活動種目を観察することができる。 d: 各種目のルールを理解し、記録の計測や審判ができているか。積極的に学ぶ姿勢を養い理解を深める。	受講態度の観察 活動票 記録票 レポート 技能観察
後期	陸上競技	⑧　⑨跳＋投＋持久走　　三段跳計測 ⑩　⑪走＋跳＋持久走　やり投げ計測 ⑫　⑬走＋跳＋持久走　　走高跳計測 ⑭　⑮走＋跳＋持久走１５００ｍ計測	○	○	○	○	a: 走；１５００ｍ、跳；走高跳、三段跳び、投；やり投、持久走；３０～６０分間走の活動内容の中で楽しさや喜びを味わおうとし、協調性・責任感をもって運動に取り組むことができているか。 b: 走・投・跳の知識を活用し技能の向上、自ら応用して他の運動や生活に活用することができるか。 c: ４種目の技術・技能を身につけ、記録が向上しているか。仲間と連携・協力して他の人の活動種目を観察することができる。 d: 各種目のルールを理解し、記録の計測や審判ができているか。積極的に学ぶ姿勢を養い理解を深める。	受講態度の観察 活動票 記録票 レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。